

AIZAWA

會澤高圧コンクリート株式会社

おおはし みき
大橋 未来

会社概要

- 1935年創業
- 本社：北海道苫小牧市

コンクリート×テクノロジー
→新しい価値の創造

- 2023年6月 福島RDMセンター開設



RDMのサイクル

- Research（研究）
- Development（開発）
- Manufacturing（製造）
- Marketing（市場展開）

コンクリート製品工場

研究開発拠点



脱炭素につながる研究開発

勝手にひび割れを治して脱炭素につなげる 自己治癒コンクリート Basilisk

練り混ぜ時に特殊なバクテリアとその餌を添加。
バクテリアの代謝活動によってコンクリートのひび割れを
自己治癒させるテクノロジー

オランダ デルフト工科大学と共同で研究
2020年に世界初の量産化に成功

コンクリート構造物を長寿命化させることで脱炭素に貢献します。



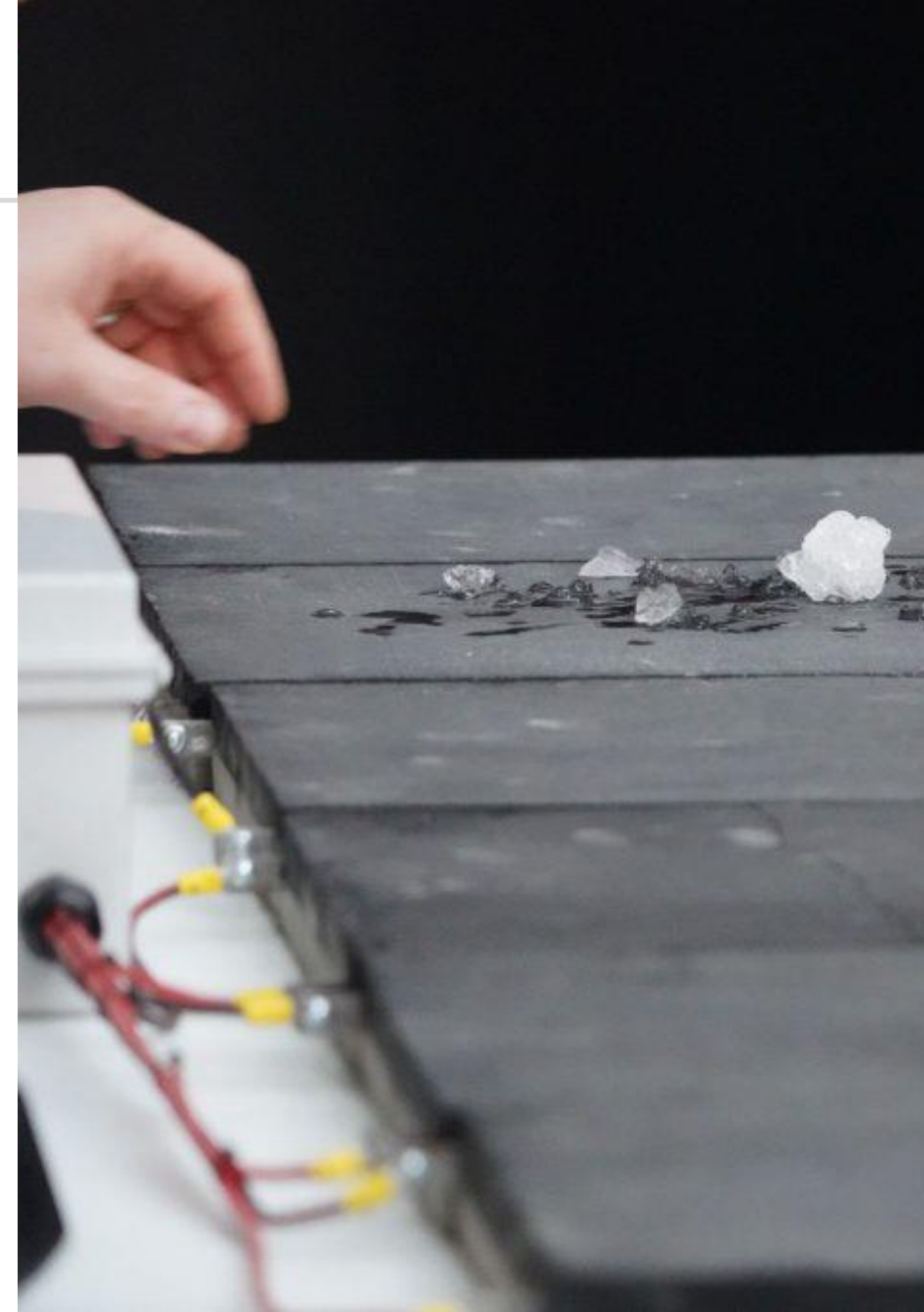
新たな開発-蓄電コンクリート

コンクリートが蓄電池に変わる 蓄電コンクリート

コンクリートにカーボンブラックを混ぜることで
導電性を持たせるテクノロジー

昨年4月 アメリカ マサチューセッツ工科大学と研究を開始

電気抵抗による発熱性もあるため、
ロードヒーティングとしての使用方法も研究中



関係人口の増加

1年に1度のテックフェス 「結（ゆい）」

訪れた人やテクノロジー同士を結び付け
新たなイノベーションを呼び起こすためのイベント

コンクリート3Dプリンター、ドローンなど取り組ん
でいる技術開発やチャレンジしているプロジェクト
に関するプログラムを提供

【これまでの参加者数】

2023年：800名（グランドオープン）

2024年：400名

9月25日(木) 開催！

11:00~18:00 参加無料



おわりに（個人的な想いですが...）

浪江町って、

「挑戦すること」に とにかく前向きな地域

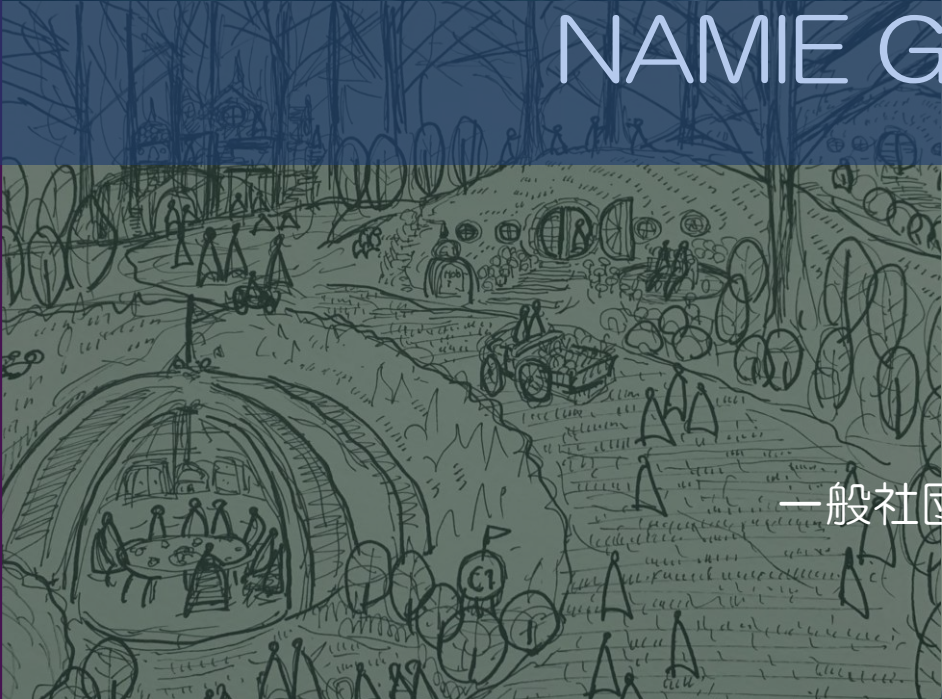
- 希望や野望をもった人たちが前向きに活動し
- 相手のチャレンジを応援し合い
- それぞれの想いが相手を元気づける

皆さんにいつも元気をもらっています!!



浪江町田園都市構想

NAMIE GARDEN CITY PROJECT



都市計画家 風見正三
宮城大学 参与・名誉教授

+

一般社団法人 東北ソーシャルデザイン研究所
株式会社 マイファーム
クローバーグループ



21世紀の田園都市を創造する地域経営組織の提案 FUTURE OF NAMIE TOWN

地域資源に立脚した地域産業の
環境創造型の連携と共創



福島から日本を変革する
地域共創拠点

地球時代の自治体の使命



環境・情報・観光・福祉・経営・地域

なみえ田園都市構想の
デザインマネジメントを実行

グローカルイノベーション
を実現する教育研究と地域実装

- 1 地域創造 (Sustainability)
地域エネルギー創生による
課題解決型のまちづくりの実現
- 2 生活創造 (Smart Life)
持続可能なライフスタイルによる
環境負荷の少ない自立社会の実現
- 3 産業創造 (Creative Industry)
地方都市のポテンシャルを活した
環境産業創生 (環境・情報・観光)
- 4 地域ブランディング (Symbiosis)
「田園都市」＝新時代の環境都市の創造
地球と共生する健康で幸福な暮らしの発信
- 5 社会システム (Social Impact)
地方都市が抱える共通課題の解決モデル
長寿命社会 (福祉・地域・経営)

共通のビジョンに向け、産官学民が連携し、合意形成を図りながら
自然と共生するまちを創造する

< 議長：風見正三 + 委員（都市計画・農業・林業・福祉・建築・造園・土木・環境・地域経済・政策科学等） >

事務局：一般社団法人 東北ソーシャルデザイン研究所

PROFILE

学歴

東京工業大学大学院総合理工学研究科環境理工学創造専攻 博士後期課程 修了
英国ロンドン大学政治経済大学院 (L.S.E) 都市地域計画学修士課程 修了
英国ロンドン大学理工医学大学院 (Imperial College) 経営学修士コース 修了

学位

博士 (工学) 東京工業大学 2007年
理学修士 (都市地域計画学) ロンドン大学 1992年
経営学修士 ロンドン大学 1993年

職歴

1984年4月 財団法人日本ダム協会研究部研究員
1987年4月 大成建設 (株) 開発本部
2008年4月 宮城大学事業構想学部 教授
2016年4月 宮城大学事業構想学部長 兼 事業構想学研究科長
2019年4月 宮城大学理事兼副学長
(研究・地域連携・産学連携担当)
2020年9月 宮城大学理事兼副学長
(研究, 学術情報, 地域連携・産学連携, 国際交流担当)
図書館長、最高情報責任者(CIO)
2021年4月 研究推進・地域未来共創センター長 (兼務)
2025年4月 宮城大学 参与・名誉教授

風見 正三
Shozo Kazami

都市計画家

宮城大学
参与
名誉教授
特任教授

とうほくPPP・PFI協会 会長

宮城県建築審査会長
みやぎ景観アドバイザー

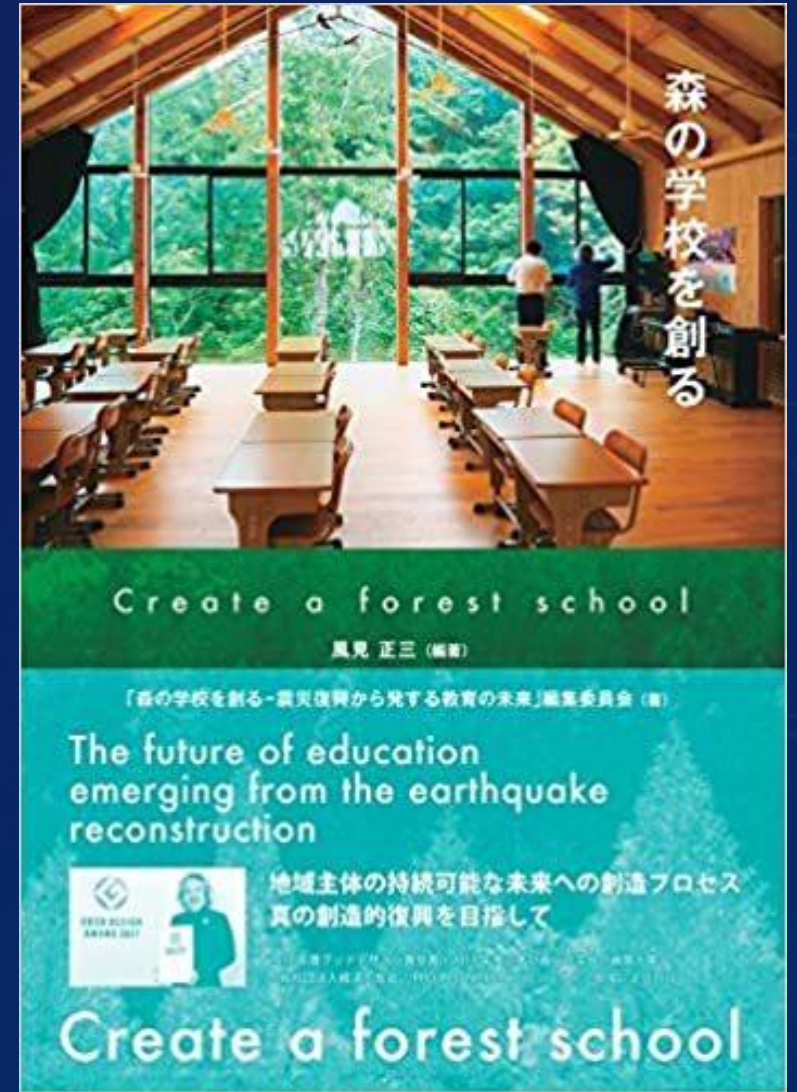
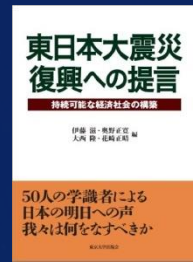
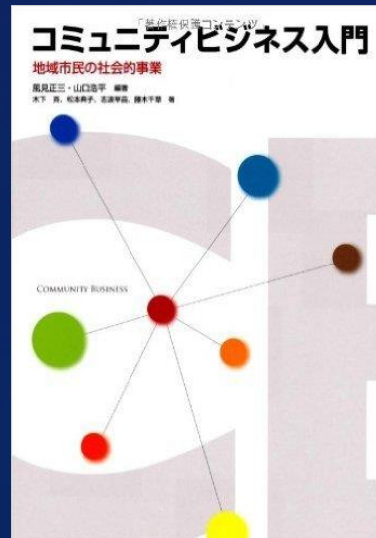
専門

都市計画・地域経営・環境政策
コミュニティビジネス
持続可能な地域創造学



主要著書 建築・経営・環境・教育

- 「『明日の田園都市』への誘い-ハウードの構想に発したその歴史と未来-」（彰国社、2001）
「テーマコミュニティの森-ヒューマンサイズの新しい都市」（ぎょうせい、2002）
「緑地・公共空間と都市建築」建築の発展と制御シリーズ 第2巻」（日本建築学会、2006）
「コミュニティビジネスのすべて 理論と実践マネジメント」（ぎょうせい、2009）
「コミュニティビジネス入門-地域市民の社会的事業-」（学芸出版社、2009）
「東日本大震災 復興への提言-持続可能な経済社会の構築」（東大出版会、2011）
「地域診断法～鳥の目、虫の目、科学の目」（新評論、2012）
「震災復興と生態適応-国連生物多様性の10年とRIO+20に向けて」（国際書院、2013）
「東日本大震災とNPO・ボランティア」（ミネルヴァ書房、2013）
「都市・地域の持続可能性アセスメント-人口減少時代のプランニングシステム-」（学芸出版社、2015）
「新コモンズ論-幸せなコミュニティをつくる八つの実践-」（中央大学出版部、2016）
「復興から学ぶ市民参加型のまちづくり-中間支援とネットワーキング」（創成社、2018）
「森の学校を創る-震災復興から発する教育の未来」（山口北州印刷株式会社、2020）
「復興から学ぶ市民参加型のまちづくりII-ソーシャルビジネスと地域コミュニティ」（創成社、2020）



都市開発から持続可能な都市創造へ

全国の都市開発のプロデュース（1980～2008）
（都市政策・都市開発・再開発計画・企業の新規事業戦略）

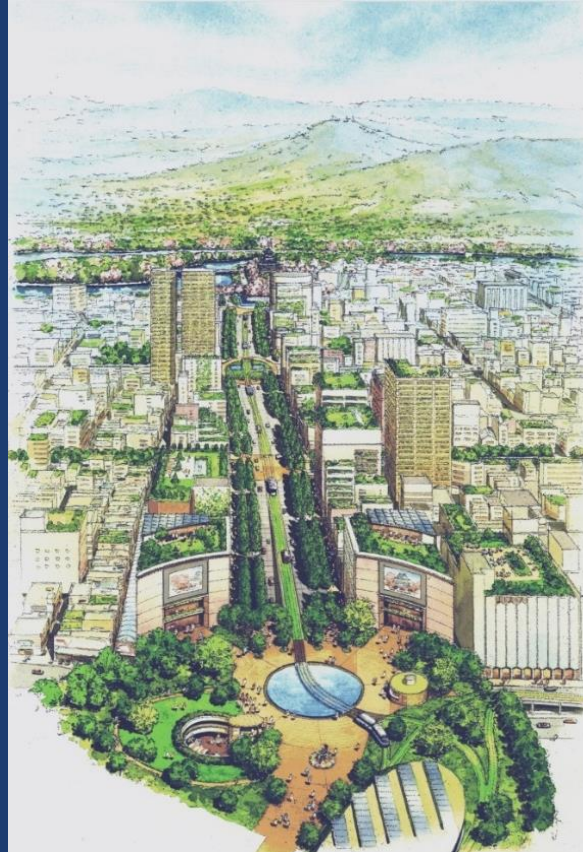
持続可能な企業と都市の戦略の立案（1997～2008）
（民間企業の環境事業支援・自治体の環境政策立案・推進）

東北の地域産業と社会起業家の育成（2008～）
（東北の中小企業の経営戦略指導と震災復興型の起業家育成）

震災復興と持続可能な都市経営指導（2011～）
（被災自治体の震災復興まちづくりの立案と実践）

田園都市構想の東北展開と地域起業家の育成（2016～）
（都市と農村の融合に基づく社会変革の実現）

グローバルな視座による持続可能な社会の創造（2019～）
（SDGs,カーボンニュートラルの実現に向けた知の拠点の実現）



持続可能な都市システムの模索

Sustainable City Growth and its Management Process



レッチワース

E.ハワードが提唱した「田園都市」の理念に基づき、ロンドンの北方55km建設された自立した職住近接型の新都市。

田園都市の周囲を豊かな緑地帯（グリーンベルト）が取り囲んでおり、無秩序な拡大（スプロール化）を防ぎ、コミュニティの一体性を保っている。

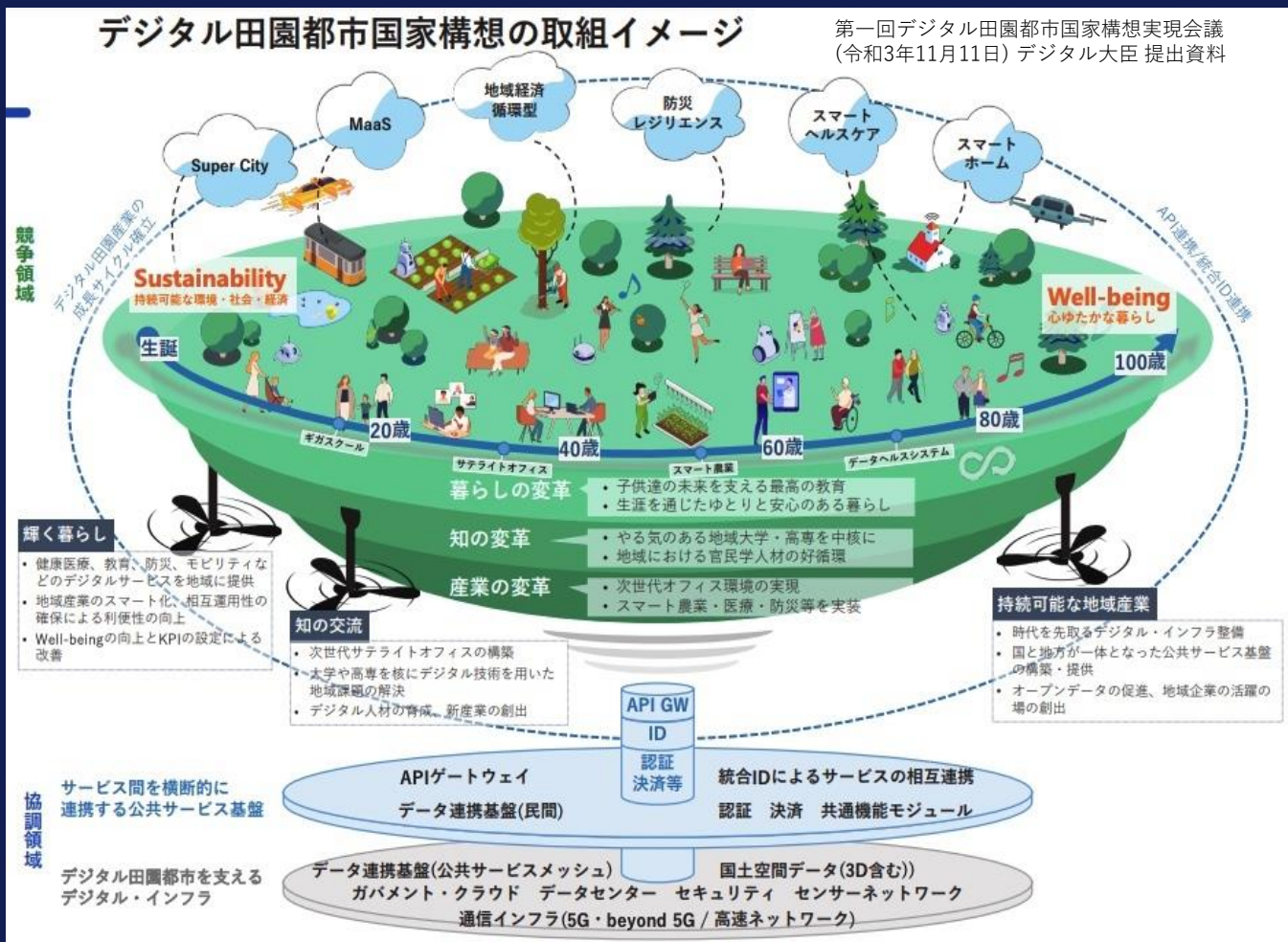


まちづくりの要諦

- 土地を共有し借地権で運用する
- 開発利益はコミュニティに還元する
- 職住の近接
- エネルギー効率の良いエコノミーな美しい住宅
- グリーンベルトから新鮮な農作物の供給
- 緑豊かなコモンとビレッジグリーン
- 多様な規模の宅地と住宅
- まちづくりのマネジメント組織

地球時代の都市未来創造

高度情報社会における都市の存立意義とシステムの改編 = DX
経済、社会、環境のバランスのとれた持続可能な都市の実現 = GX



震災復興からの挑戦

持続可能な
地域未来共創モデル
の実現

震災復興から生まれた地域未来共創のアプローチ

地域の多様なステークホルダーの共創による
持続可能な未来のコミュニティデザイン



地域と共に未来を創造する

震災復興から発する 持続可能な未来創造の視座

震災復興の使命

震災の教訓を未来に継承

東北の地域産業の再構築

東北の復興を世界に発信

森の学校 の取り組み

地域未来共創モデル

デザイン・計画行政・不動産・環境・建築等
の6部門の受賞

2017年	グッドデザイン賞
2017年	日本計画行政学会計画賞
2020年	第26回 日本不動産学会長賞
2020年	日本環境共生学会賞(環境活動賞)
2020年	日本環境共生学会賞(著述賞)
2021年	JIA(日本建築家協会) 東北建築大賞

地球 (Global) と地域 (Local) の共創

未来創造への視座

自然の恩恵を知る教育

地域資源の活用と循環

地域と世界との共創

森の学校を創るプロセスの情報発信

「森の学校を創る-震災復興から発する教育の未来」



Create a forest school

風見 正三 (編著)

「森の学校を創る-震災復興から発する教育の未来」編集委員会 (著)

The future of education
emerging from the earthquake
reconstruction



地域主体の持続可能な未来への創造プロセス
真の創造的復興を目指して

第101回年度グッドデザイン賞受賞・2017年度日本計画教育設計賞入賞
一般社団法人経済同友会「IPPO JPO 2018」プロジェクト助成により刊行

Create a forest school

震災復興を超えて、地域がどのように新しい未来を手に入れたのか、
子どもたちの未来はいかにデザインされていったのかを綴った
震災復興の奇跡の物語

震災復興はまだまだ終わらない。

しかし、東北は今、震災復興を超えて、

新しい未来を創造していくべき時期にきています。

大震災の教訓から立ち上がり、そこから生まれていく新たな希望こそが、

日本を新しい未来に導いていってくれと信じています。

Shozo Kozamin



富谷市における コモンズデザインの実践

森の公園ツリーハウス
プロジェクト

森の公園プロジェクト

Tree House make the Dream to the Future

For Our Sustainable Community in Tomiya City

ツリーハウス
スクール
プロジェクト

Forest Park Project

Tomiya
Gaia Forest Park

Drawing by
Dr.Shozo.Kazami



森の公園プロジェクトとツリーハウススクール

森の公園プロジェクト構想に基づく、自然と調和した公園創りに伴うシンボルとしてのツリーハウスの共創を行う。

市民参加によるツリーハウスの共創は、「地域から愛される公園づくり」の基礎となり、ツリーハウスの製作過程における、自然との関わりを通じて、都会生活の中で失いつつある、「センスオブワンダー」を取り戻し、身近な自然へ眼差しと地球的な視野の共生を理解していく「学びの場」となる。



子どもたちが輝く未来を
地域と共に創造する



ツリーハウスを地域でつくろう

絆さくらの会



1 桜を植えた人

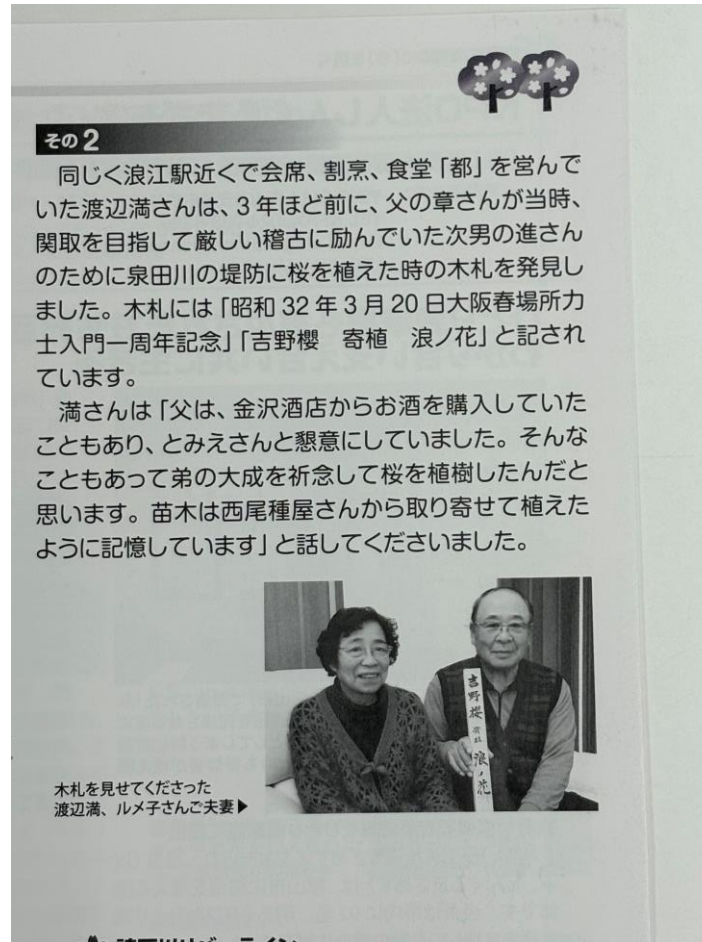


写真右から、
松本ハツヨさんの孫・
松本ハツヨさん・金沢
とみえさん・淀川テウ
さん

今では、桜の木は町の大切な
産として残されていますが、一
その桜の木は誰の手で、どのよ
な思いを込めて植えられたもの
のでしょうか。
町の人に話を聞いてみました

金沢ハナさん
(権現堂)

約50年前、中央公園や正西寺
ど町の広範囲に桜を植栽したの
故金沢とみえさんです。とみえさ
の長男で故金沢良雄さんの妻ハナ
ンにお話を伺いました。
「とみえさんは陽気で明るく、
つも笑い声のたえない人だったよ。

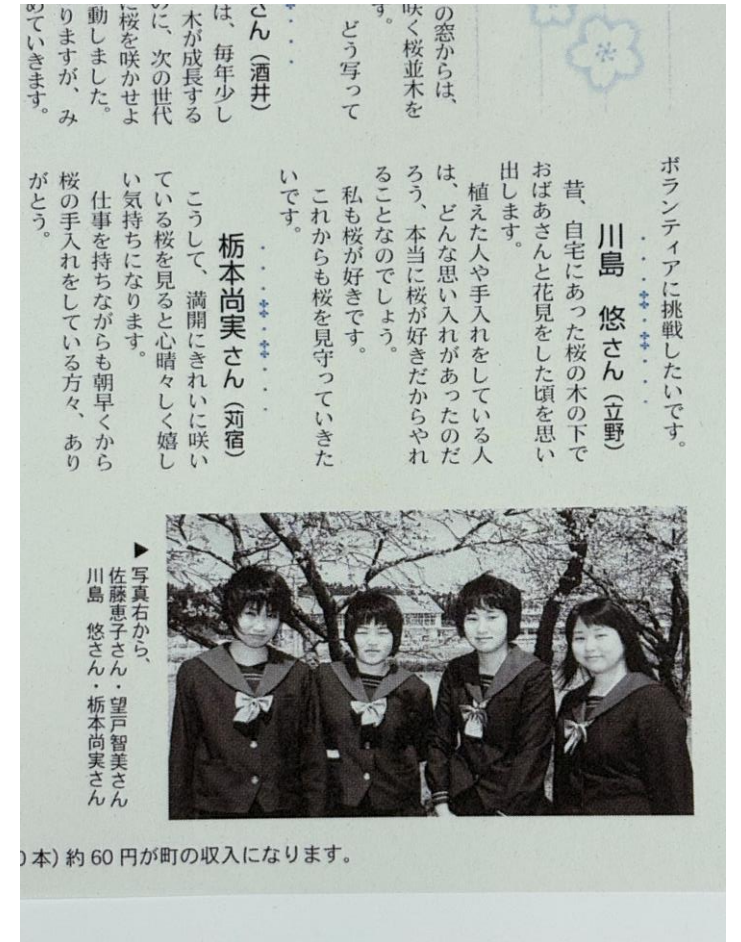


その2

同じく浪江駅近くで会席、割烹、食堂「都」を営んで
いた渡辺満さんは、3年ほど前に、父の章さんが当時、
関取を目指して厳しい稽古に励んでいた次男の進さん
のために泉田川の堤防に桜を植えた時の木札を発見し
ました。木札には「昭和32年3月20日大阪春場所力
士入門一周年記念」「吉野桜 寄植 浪ノ花」と記され
ています。

満さんは「父は、金沢酒店からお酒を購入していた
こともあり、とみえさんと懇意にしていました。そんな
こともあって弟の大成を祈念して桜を植樹したんだと
思います。苗木は西尾種屋さんから取り寄せて植えた
ように記憶しています」と話してくださいました。

木札を見せてくださった
渡辺満、ルメ子さんご夫妻▶



写真右から、
佐藤恵子さん・望戸智美さん
川島悠さん・栃本尚実さん

の窓からは、
咲く桜並木を
どう写って
さん(酒井)
は、毎年少し
木が成長する
に、次の世代
に桜を咲かせよ
うと、動摇了。
りますが、み
ていきます。

ボランティアに挑戦したいです。
川島 悠さん(立野)
昔、自宅にあった桜の木の下で
おばあさんと花見をした頃を思い
出します。
植えた人や手入れをしている人
は、どんな思い入れがあったのだ
ろう、本当に桜が好きだからやれ
ることなのでしょう。
私も桜が好きです。
これからも桜を見守っていき
たいです。

栃本尚実さん(刈宿)
こうして、満開にきれいに咲い
ている桜を見ると心晴々しく嬉し
い気持ちになります。
仕事を持ちながらも朝早くから
桜の手入れをしている方々、あり
がとう。

本) 約60円が町の収入になります。

2 さくらの会発足・震災前・現在

- さくらの会発足



▲請戸川リバーラインの桜

▶平成8年に発足した「浪江桜の会」の皆さん。現在、会員は15人。「無理なく続ける」をモットーに、毎年3月の土曜日と日曜日、早朝の時間を使って活動を続けています



ら長く続けてこられたんだと思います。震災の後、会員がバラバラになっても活動日になると県内各地から会員が集まって来る理由もそこにあると思います」とは、前出の原田さん。次のページでは、お二人に教えていただいた浪江の桜の名所を小さな物語と一緒にご紹介します。

次ページへつづく

2 さくらの会発足・震災前・現在

・震災前



・現在

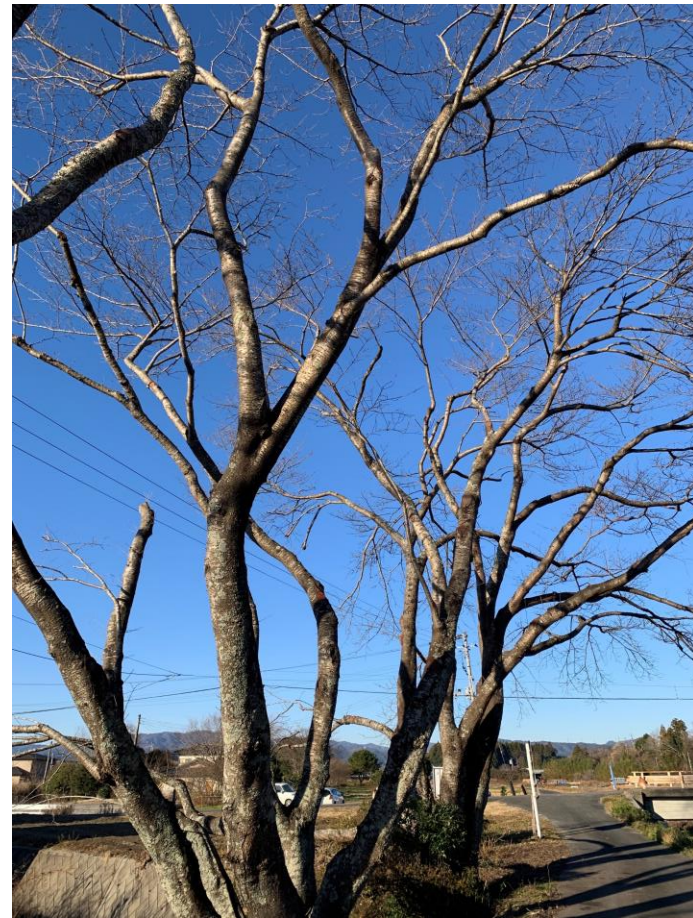


3 てんぐ巣病の枝の手入れ

• ビフォー



• アフター



4 今後の展開

- 東京農大・弘前大の学生と



- 地区のシンボル『殿様桜』



4 今後の展開

- 津島小中学校の桜



5 課題 枝の処分



6 課題

- 伐採枝の処理
- 助成金の項目にないものが認められない
(ヘルメット等安全対策費)
- 消耗品は一年以内
- 自己資金の目当てがない
- 助成金がいつまで続くのか不安

リサイクルギャラリー

り庵



「り (re)」の活動をする拠点→reとは日本語の「再」

- ・ リサイクル (recycle)
- ・ リメイク (remake)
- ・ リフォーム (reform)

など

主な活動

- ・ り庵の経営（リサイクルショップの経営）
 - 買取無しのリサイクルショップ
 - 家具、食器、衣類、着物、手芸品、雑貨
- ・ サロン、ワークショップ開催
 - 店内の商品を使ったリメイク
 - 着付け教室
 - 料理教室（ex 町内生産イチゴでジャム作り）
- ・ 「り」の会の運営
 - 十日市での花嫁行列

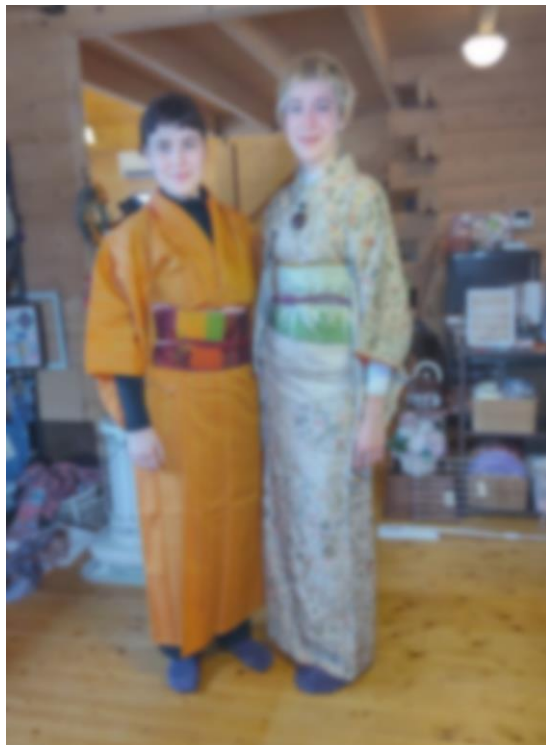


店内の様子



リサイクル
リユース
リフォーム
の作品集





ワークショップの様子

「い」の会の活動



その他の活動

- ・ 相馬流山おどり
- ・ 絆さくらの会

浪江駅西側地区共創会議 コミュニティ部会

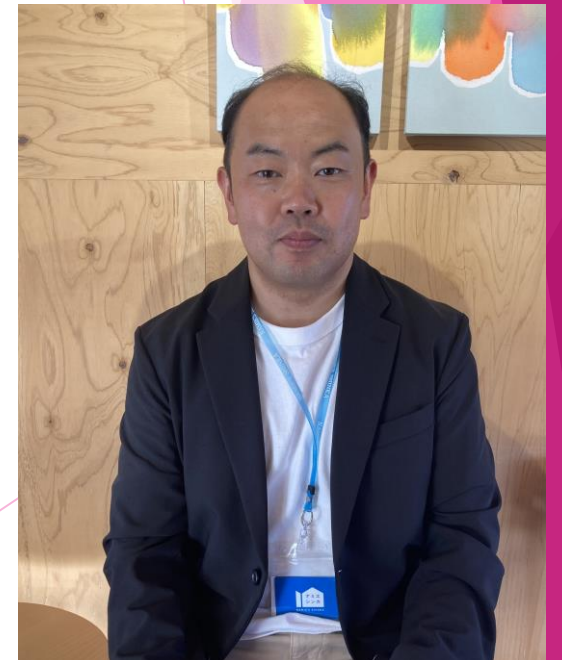
浪江町地域おこし協力隊 古山 宏明

出身地:福島県伊達市

活動形態:フリーミッション型

任期:令和5年4月～

趣味:スポーツ観戦、寺院・城巡り



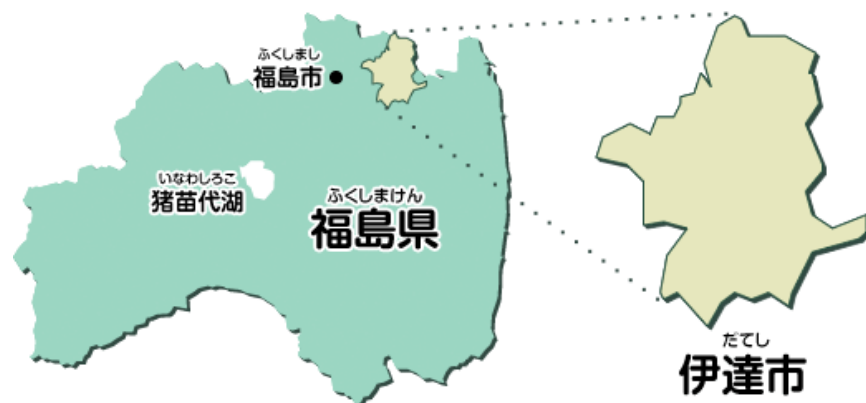
本日の流れ

- ▶ 自己紹介 / 活動内容紹介
- ▶ 自身の強みや技術は何？
- ▶ 地域での取り組み紹介
 - ・英会話
 - ・モルック
- ▶ 課題

<自己紹介> 初めて、ふるやま ひろあき と申します。

令和5年4月に福島県福島市より浪江町に移住し、浪江町の地域おこし協力隊として、町の魅力 = “なみえらしさ”を、一緒に見つける・創る・広める地域おこし協力隊を「なみえプロモーション課」として、隊員ご自身で考えた、町を盛り上げる企画・活動をしています。

実家は、同じ福島県の伊達市です。今年も春に田植えを行い、冬には伊達市特産の「あんぽ柿」の生産を行っています。



令和7年度 活動内容紹介

- ▶ ① 浪江町の魅力を広める活動
- ▶ ② 子供支援活動
- ▶ ③ 高齢居住者支援活動
- ▶ ④ 居住地区の避難計画等策定の支援
(地域防災への意識向上)
- ▶ ⑤ 定着支援研修参加・定着に伴う技能習得（自走支援）

自身の強みや技術は…

- ➡資格
- ・英検準2級
 - ・秘書検3級
 - ・危険物取扱主任者 丙種
 - ・赤十字 健康生活支援講習支援員
 - ・赤十字 救急法救急員
 - ・防災士
- ・J-SHINE(小学校英語指導者認定協議会)
小学校英語指導者資格認定

➡現在、資格を活かし、なみえ創成小学校放課後児童クラブや公民館事業で地域の方々と交流させていただいております。

地域での取り組み 1. 英会話

- ▶ 週に1回、オンラインまたは対面での英会話授業を受講し、今後浪江町に訪れる多国籍との交流に活かす

令和6年2月 小学校英語指導者資格取得コースの全カリキュラム受講修了

令和6年5月 J-SHINE(小学校英語指導者認定協議会)資格認定



・活動実績（令和6年度）
なみえ創成小学校放課後児童クラブ
英会話教室(年間15回対応)

・活動内容
3・4年生は外国語活動、5・6年生は
英語教科に分かれ、英語に対する
促進活動を行う。(1レッスン1時間)

➡令和7年度も英会話受講を継続し、自己の英語力向上と、F-REI(福島国際研究教育機構)での国際化になる地域・行政と関わって参ります。

2.モルックを活用した居住者への交流・健康促進

- ▶ 公民館事業ニュースポーツ体験会でモルックを担当し、居住者同士のスポーツ交流と健康促進を目的とした活動を行う。

➡モルック棒を投げるときは集中力を使い、スキットルを立てたり拾ったりする動作は筋肉を使い、点数計算は脳を使うので健康に良いとされています。



「モルック＝浪江町・相双地区」
のモデル化へ！
モルックで町おこし！！

活動実績（令和6年度）

公民館事業（年間 体験会5回実施）

- ・5月23日(木)・7月25日(木)・9月26日(木)
- ・11月14日(木)・1月23日(木)
- ・3月6日(木) 公民館長杯モルック大会実施
なみえ創成小学校放課後クラブ
モルック体験会実施

➡令和7年度は、月に1～2回モルック
教室活動中

課題は…

➡現在、子供たちの姿が駅前で見えないこと

原因は？

現在のスクールバスでの通学➡集団登校が無い➡地域での見守りが無い➡子供たちの学びが無い➡町の衰退へ繋がる

だから…

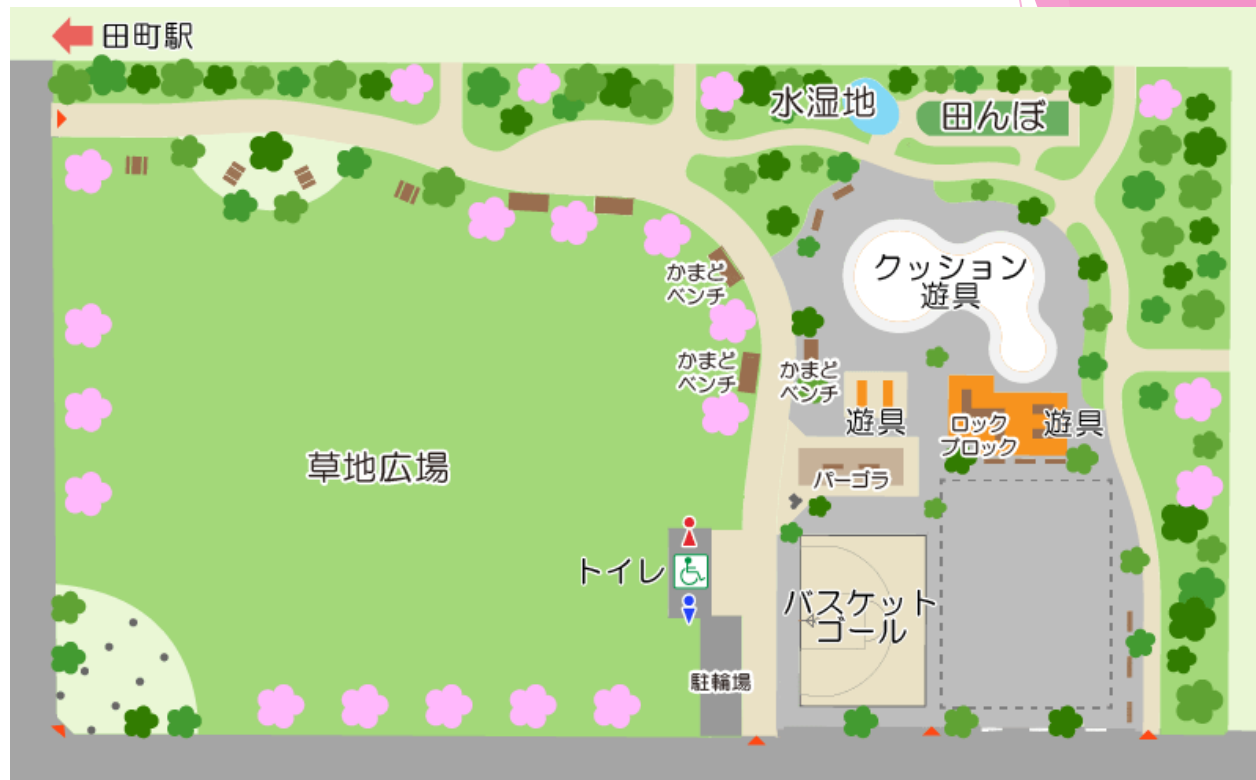
浪江駅西側地区には、子供たち集まれる学びの施設・広場を立地を希望します。

芝生の交流スペースで、ご高齢者も身体を動かせる場所、自転車スタンドを併用し、災害時には、避難場所が防災公園として活用できる公園になるように私も、お手伝いします。

理想は...

芝浦公園

住所
東京都港区芝浦一丁目
16番25号



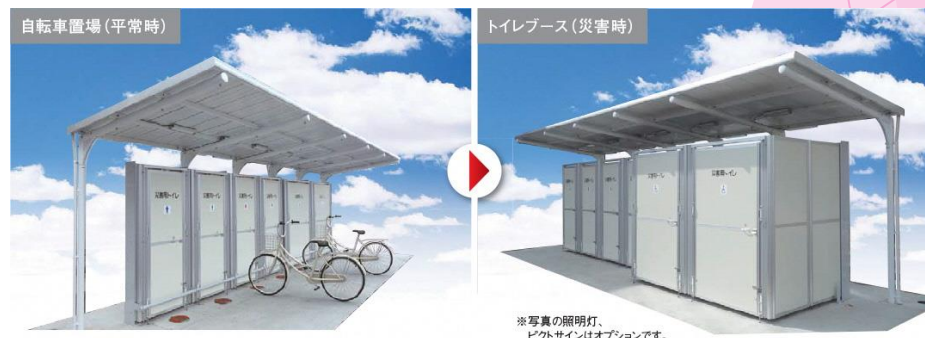
バスケットゴール



かまどベンチ



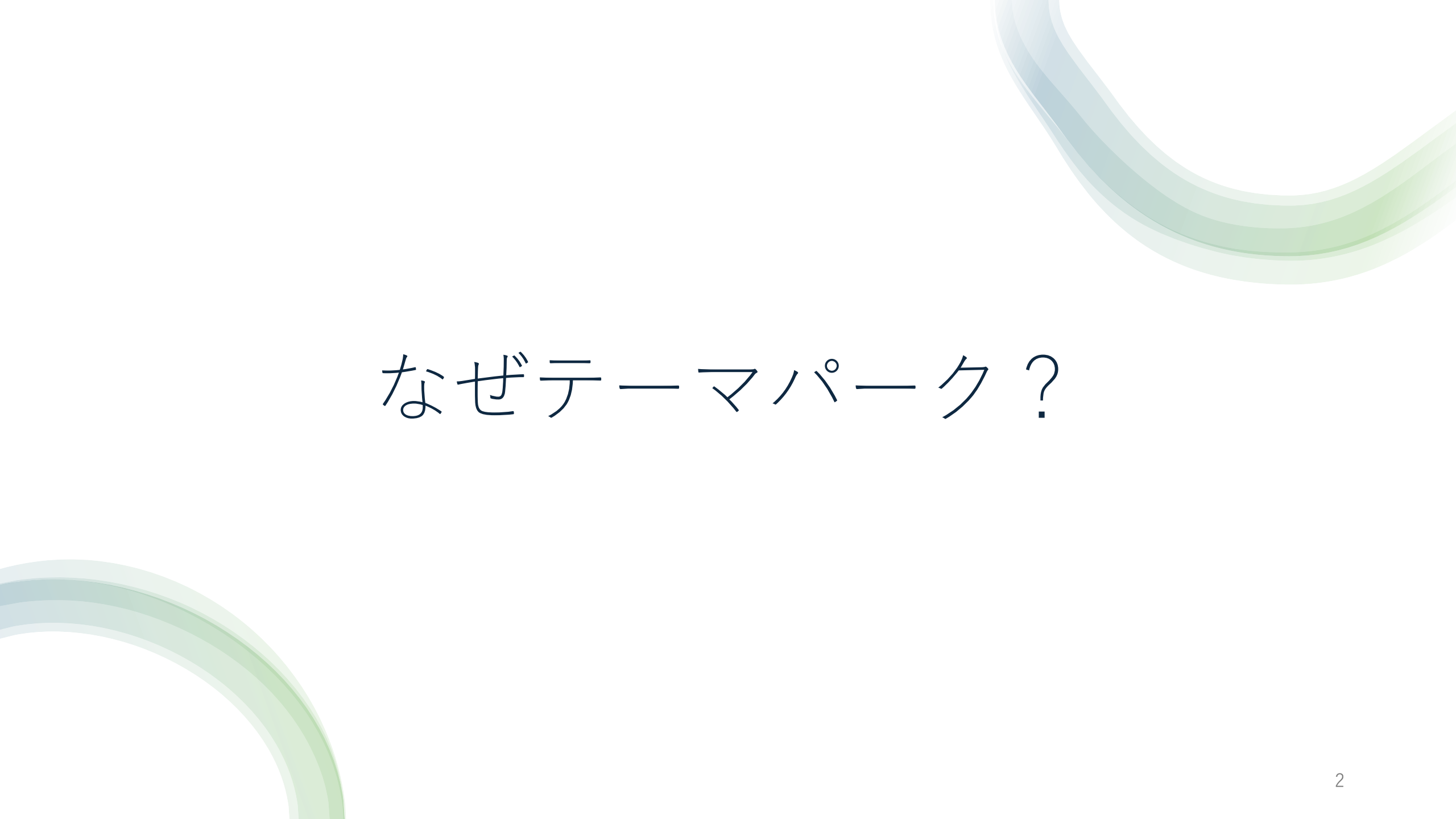
普段は駐輪場など、災害時にはトイレブースへ



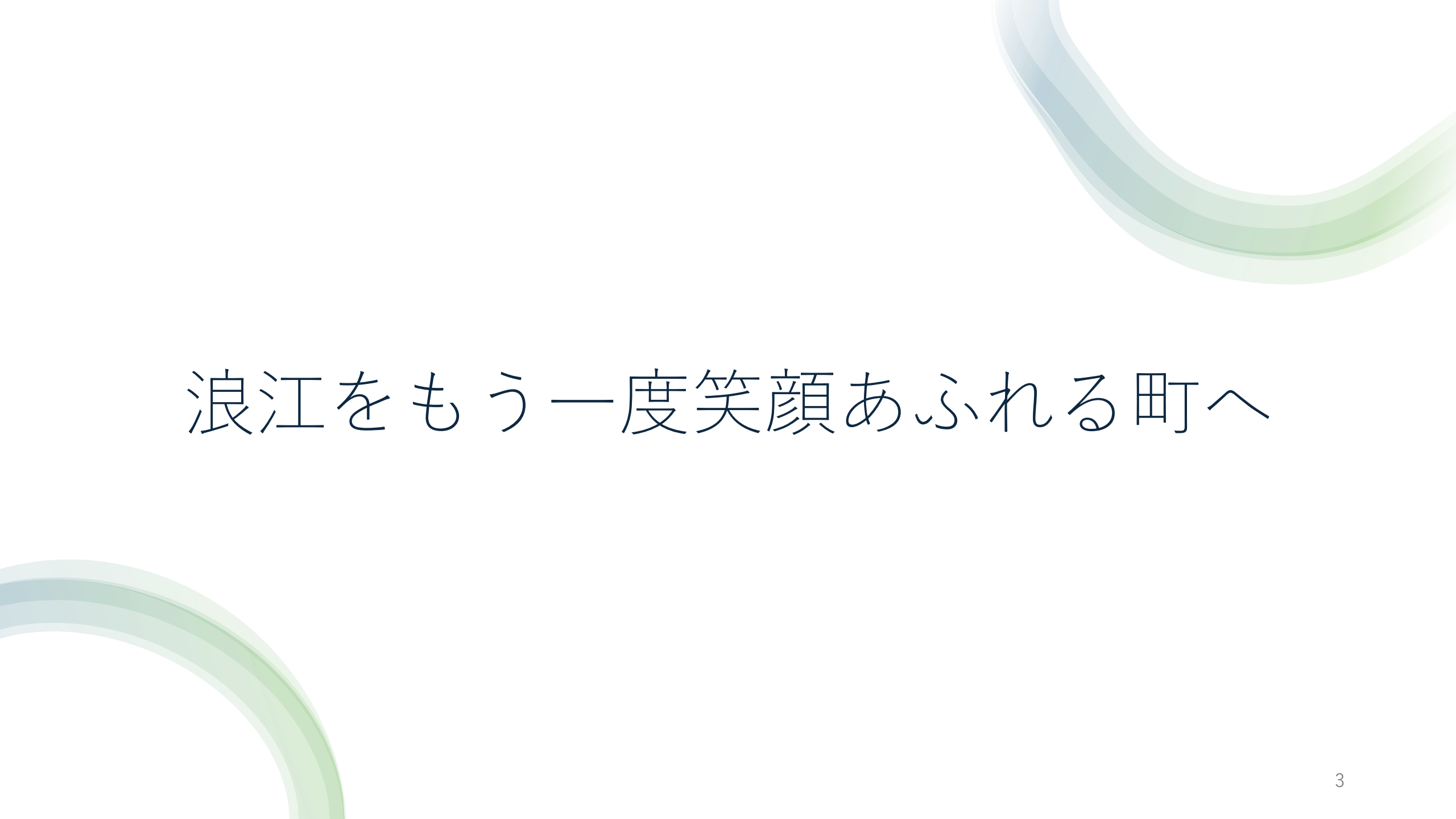
※敷地外観、園内MAP、バスケットゴール写真は、芝浦中央公園 公式サイトより

ご清聴ありがとうございました。
Thank you for your time!

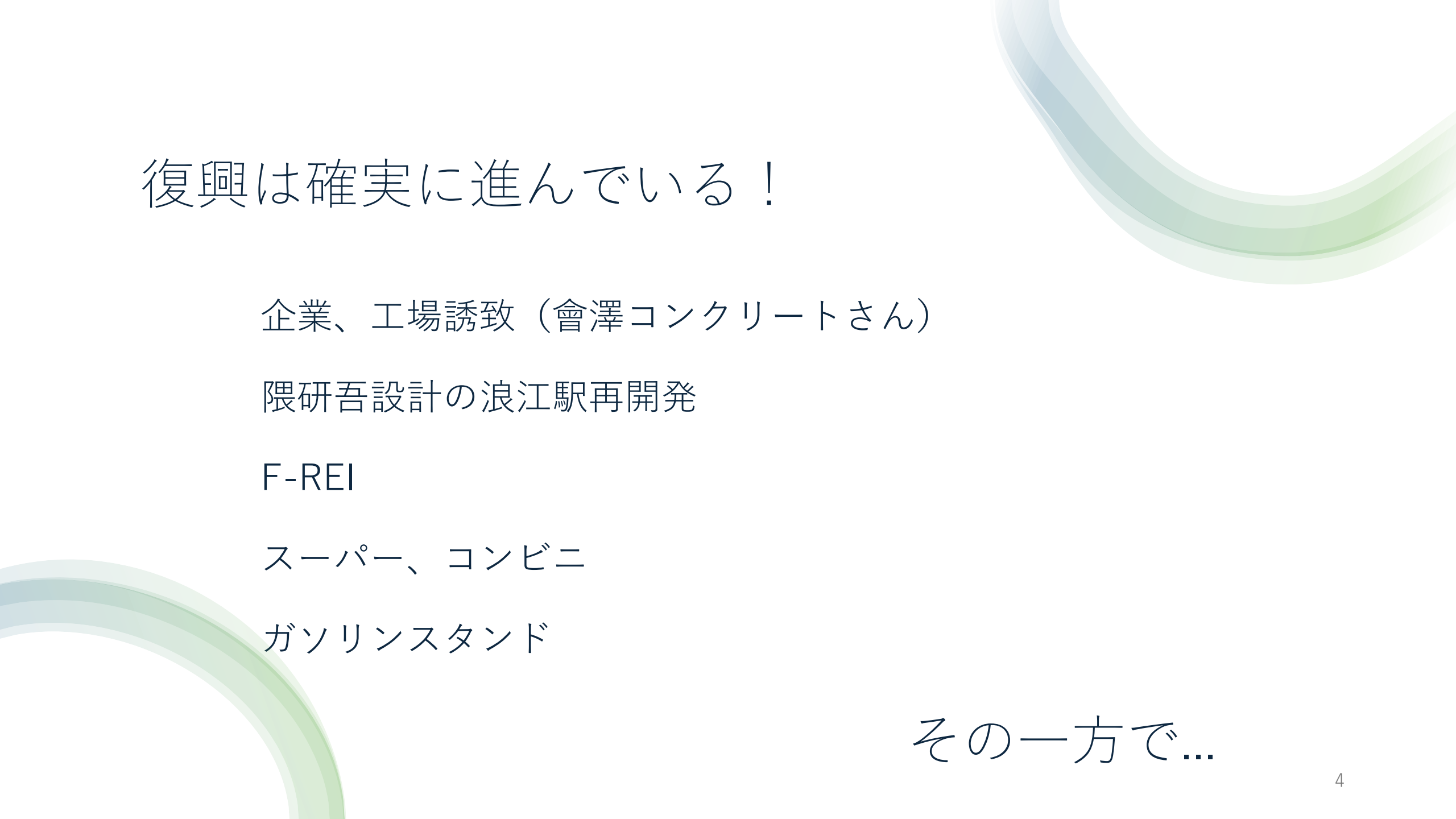
浪江テーマパーク構想



なぜテーマパーク？



浪江をもう一度笑顔あふれる町へ



復興は確実に進んでいる！

企業、工場誘致（會澤コンクリートさん）

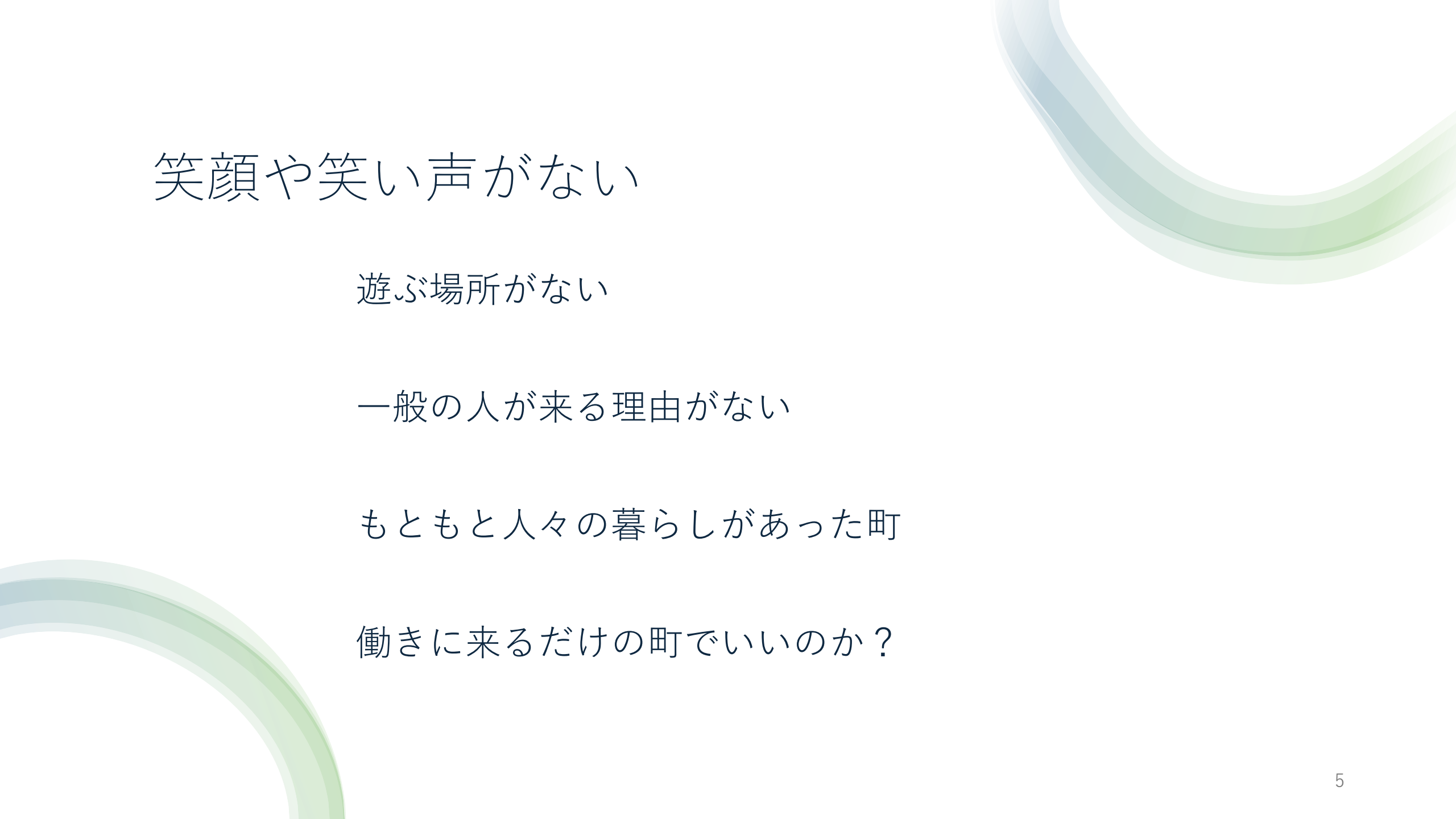
隈研吾設計の浪江駅再開発

F-REI

スーパー、コンビニ

ガソリンスタンド

その一方で...



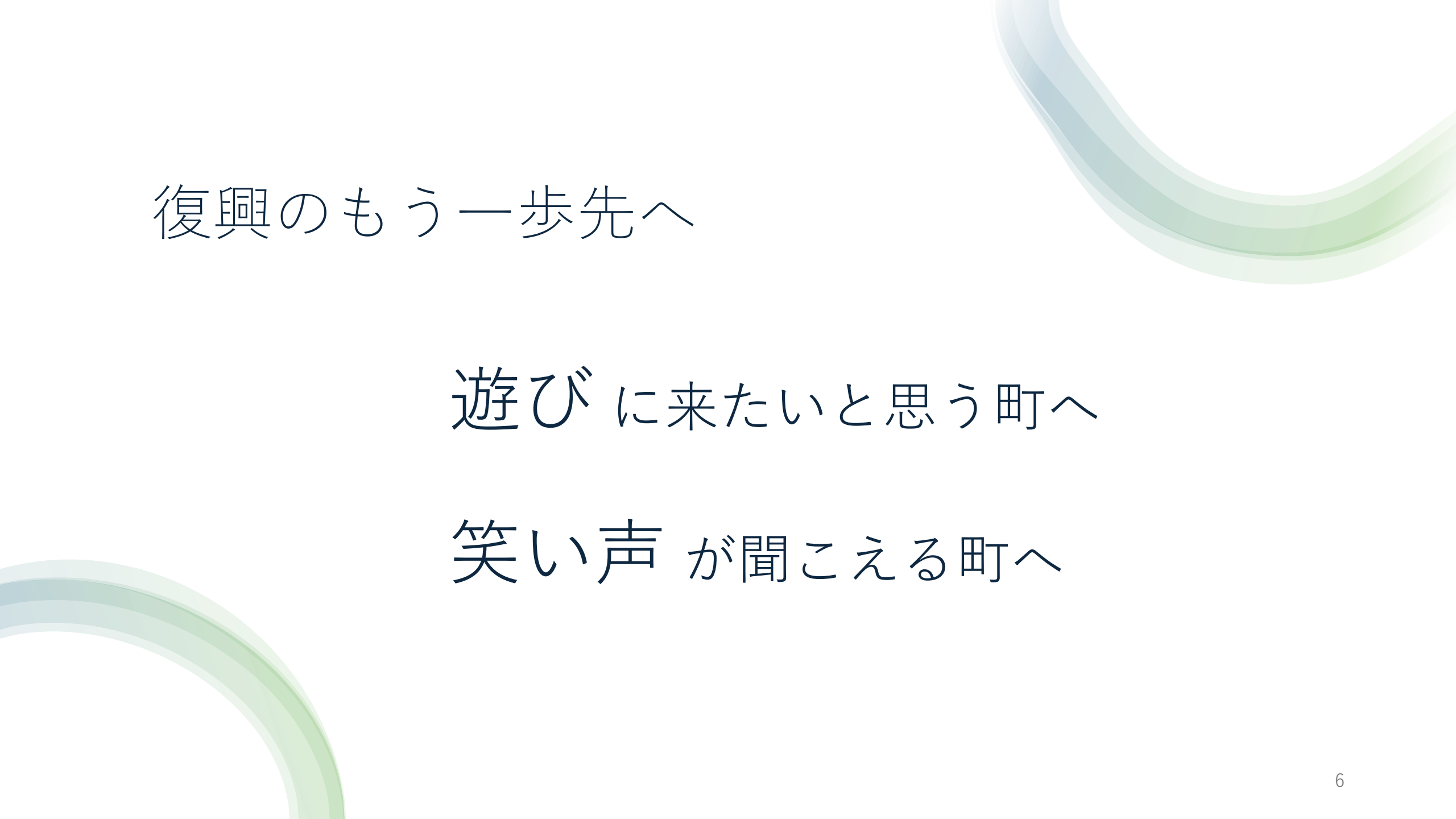
笑顔や笑い声がない

遊ぶ場所がない

一般の人が来る理由がない

もともと人々の暮らしがあつた町

働きに来るだけの町でいいのか？



復興の もう一歩先へ

遊び に来たいと思う町へ

笑い声 が聞こえる町へ

テーマパーク

テーマパークの波及効果

雇用創出（数百人規模）

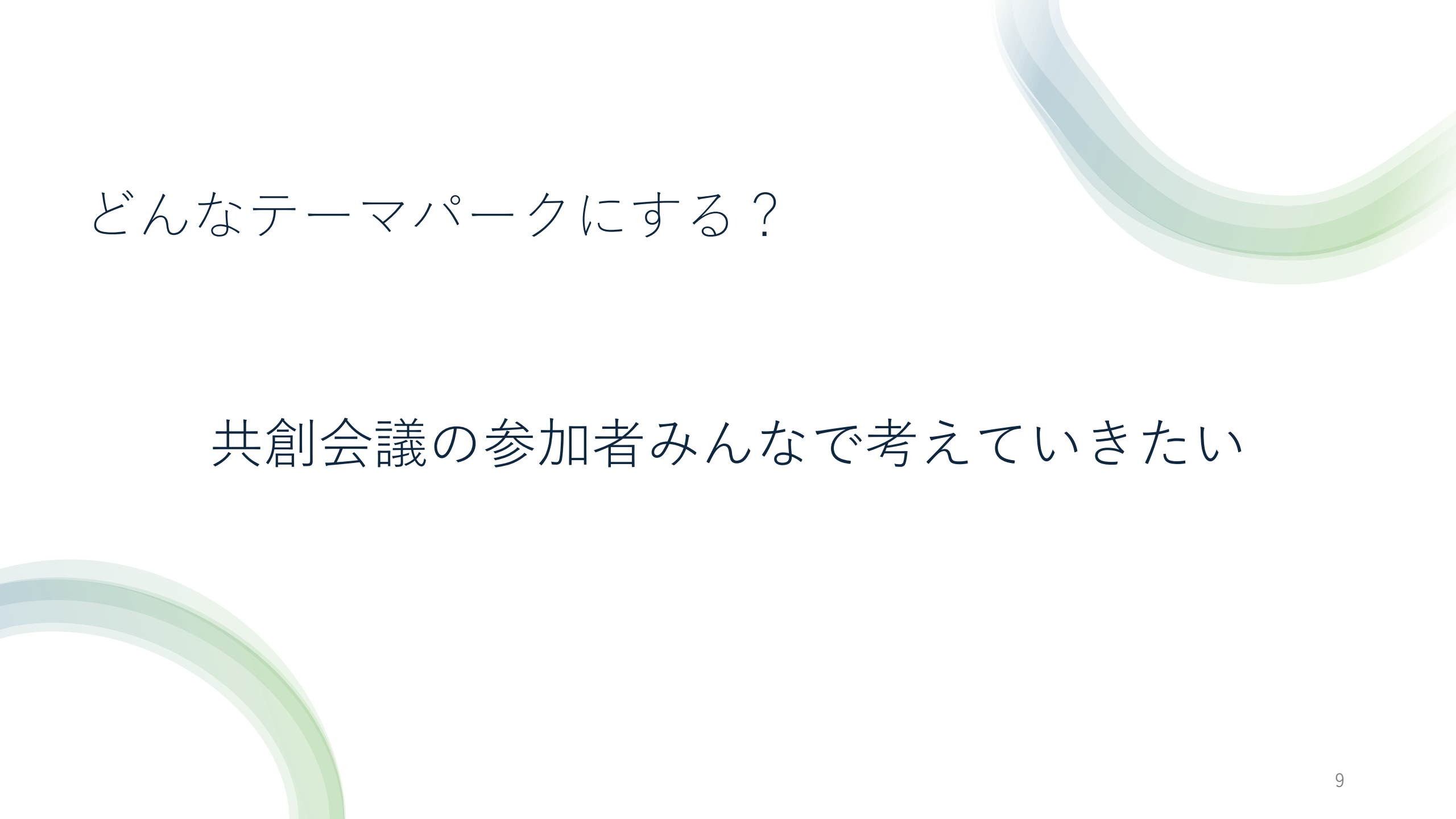
一般の観光客の増加

常磐線利用者増→本数増加で終電も遅くなり、住民も飲みに行きやすくなるかも？

周辺地域経済の発展（飲食店、ホテルなど）

歴史の継承（震災の施設への訪問者も増える）

→町全体が発展



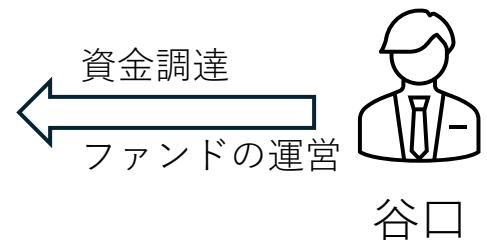
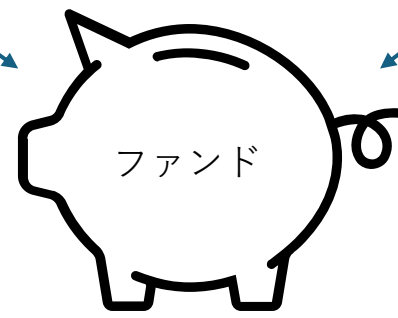
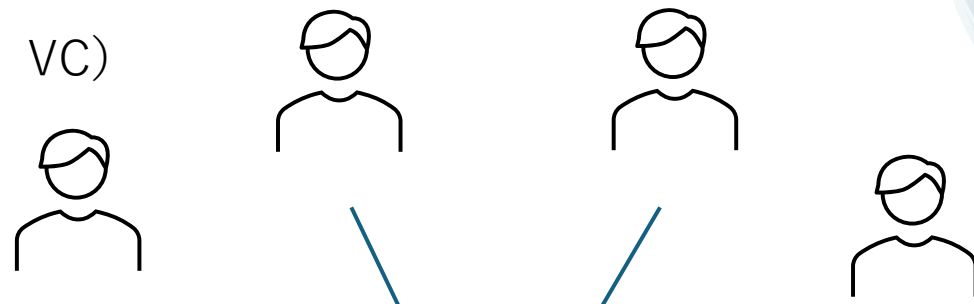
どんなテーマパークにする？

共創会議の参加者みんなで考えていきたい

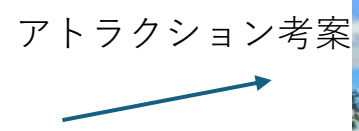
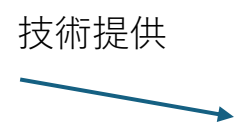
例えば谷口は. . .

ファンド監査の経験を生かして、
有責組合のスキームでお金集め

投資家
(地銀、地元大手企業、PE、VC)



住民の方々
共創会議参加企業



※ディズニーランドホームページより抜粋

テーマ（参考）

アニメ（エヴァンゲリオン、ガンダム、ポケモン、進撃の巨人などなど）

最新科学F-REIとの連携（ロボット、農林水産業、エネルギー、放射線化学、原子力）

共創会議メンバーや企業の得意分野をそれぞれアトラクションに

(参考)

ジャングリア沖縄

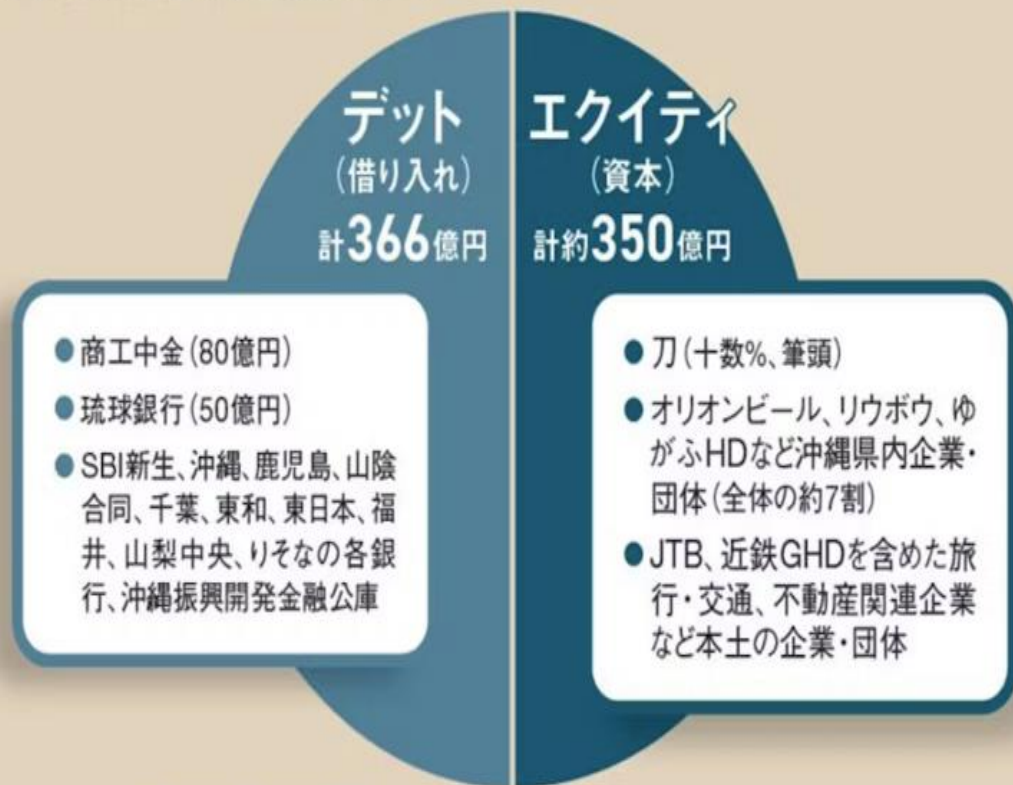


※ジャングリアホームページより引用
<https://x.gd/9Llxr>

(参考)

沖縄県内企業を軸に全国から資金を集めた

● ジャングリア沖縄の事業資金の出し手



注:エクイティの金額は非公表のため概数

沖縄県の経済活性化への貢献をうたう

● ジャングリア沖縄の事業概要

年間入場者数	「(年間300万～400万人が来館する) 沖縄美ら海水族館の半分でも十分採算に合う」(森岡氏)
入場料金 (1日)	国内在住者: 大人6930円、子供4950円
	訪日外国人: 大人8800円、子供5940円
雇用人数	約1500人 (運営会社やパーク)
経済波及効果※	初年度:6582億円、雇用創出約7万人 (建設効果を含む) 開業から15年間:6兆8080億円、雇用創出約88万人

出所:発表資料などを基に編集部作成 ※関西大学・宮本勝浩名誉教授と大阪府立大学・王秀芳客員研究員による試算

※日本経済新聞より引用
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC096CJ0Z00C25A4000000/>